

学位申請要項【社会文化科学研究科 論文博士(乙) 申請者用】

※申請については、全て紹介教員を通しての申請となります。教員を通さない直接の申請は受け付けていません。

1 学位申請の資格

- 1) 学位授与の申請をすることができる者は、次の各号の1に該当する者としします。
 - 一 大学院の博士後期課程（博士課程）を修了した者
 - 二 大学院の博士後期課程（博士課程）において、所定の期間在学し、所定の単位を修得して退学した者
 - 三 大学院の博士前期課程（修士課程）を修了した後、6年以上の研究歴を有するもの
 - 四 大学を卒業した後、8年以上の研究歴を有する者
 - 五 短期大学又は高等専門学校を卒業した後、11年以上の研究歴を有する者
 - 六 高等学校を卒業した後、14年以上の研究歴を有する者
 - 七 その他、前各号以外の学歴を有する者で、研究歴が博士後期課程（博士課程）修了者と同等以上と認められた者
（※七に該当する場合は資格審査が必要です）
- 2) 研究歴とは、次の各号に掲げるものとします。
 - 一 大学の専任教員として研究に従事した期間
 - 二 大学の研究生として研究に従事した期間
 - 三 大学院の学生として研究に従事した期間
 - 四 官公庁、会社等において研究に従事した期間
 - 五 その他、著書、学術論文等によって研究に従事したことが確認された期間

2 各審査日程及び書類請求先

	9月授与	3月授与
資格審査申請期限 ※資格審査が必要な者のみ	前年12月1日	前年6月1日
学位予備審査免除申請期限 ※免除申請を行う者のみ	前年12月1日	前年6月1日
学位予備審査申請期限	1月10日	前年7月1日
学位申請期限 ※学位予備審査に合格した者のみ	5月25日	前年12月25日

- ※ 上記が休日の場合はその翌日まで、連休の場合は最終休日の翌日までとします。
- ※ 受付時間は、午前8時30分から午後5時までとします。
- ※ 期限は全て本学の紹介教員を通して大学院教務学生グループへ提出される期日です。
 申請者が紹介教員へ提出する期日ではありませんので、申請者は提出スケジュールについて十分に紹介教員と相談した上で申請してください
- ※ 各審査の結果は紹介教員を通じてお伝えします。

各申請書類（所定様式）の請求先

【岡山大学大学院 社会文化科学研究科 大学院教務学生グループ】

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号

TEL：086-251-7357・7362 E-Mail：ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

3 資格審査

1 学位申請の資格の七「その他、前各号以外の学歴を有する者で、研究歴が博士後期課程（博士課程）修了者と同等以上と認められた者」の要件により申請する者は、資格審査（書類審査）が必要です。提出書類を紹介教員へ提出して下さい。紹介教員は、提出された書類を確認した上で大学院教務学生グループへ提出してください。

（提出書類）

提出書類	様式	部数	摘 要
① 資格審査申請書	所定様式	1 部	
② 学位論文の要旨	所定様式	1 部	和文の場合 2,000 時程度 欧文の場合和文に相当する分量
③ 学位論文の概要	所定様式	1 部	和文の場合 400 時程度 欧文の場合和文に相当する分量
④ 業績目録	所定様式	1 部	著書・論文・報告書・翻訳等
⑤ 履歴書	所定様式	1 部	
⑥ その他参考となる論文等		各 1 部	

4 学位予備審査免除申請

以下に掲げるいずれかの要件を満たす者は予備審査の免除申請をすることができます。

- ① 学位予備論文が刊行物（著書・論文）となっていて、それがその学術分野において相当の評価を得ている場合
- ② 本研究科に所定の期間在学し単位取得のうえ退学した者のうち、学位論文題目が、在学中に合格した学位予備論文題目と同一の場合

免除申請を行う場合は、予備審査免除申請書（所定様式）を本研究科の紹介教員を経て、大学院教務学生グループへ提出してください。

5 学位予備審査申請

申請者は提出書類を紹介教員へ提出して下さい。紹介教員は、提出された書類を確認した上で、申請書類を大学院教務学生グループへ提出してください。

(提出書類)

提出書類	様式	部数	摘 要
① 学位論文予備審査願	所定様式	1 部	
② 学位予備論文		1 部	和文の場合 28,000 字程度 欧文の場合和文に相当する分量
③ 学位予備論文の要旨	所定様式	1 部	和文の場合 2,000 字程度 欧文の場合和文に相当する分量
③ 学位予備論文の概要	所定様式	1 部	和文の場合 400 字程度 欧文の場合和文に相当する分量
④ 業績目録	所定様式	1 部	著書・論文・報告書・翻訳等
⑤ 履歴書	所定様式	1 部	
⑥その他参考となる論文等		各 1 部	

6 学位申請

提出書類	様式	部数	摘 要
① 学位申請書	所定様式	1 部	
② 学位論文		1 部	8「学位論文作成要領」を確認してください
③ 学位論文の要旨	所定様式	1 部	和文の場合 2,000 字程度 欧文の場合和文に相当する分量
③ 学位論文の概要	所定様式	1 部	和文の場合 400 字程度 欧文の場合和文に相当する分量
④ 業績目録	所定様式	1 部	著書・論文・報告書・翻訳等
⑤ 履歴書	所定様式	1 部	
⑥その他参考となる論文等		各 1 部	
⑦リポジトリ登録依頼書	所定様式	1 部	
⑧学位審査手数料 57,000 円			支払方法については大学院教務学生グループへお問合せください

※ 本学大学院の博士後期課程を単位修得満期退学した者が、退学後 1 年以内に学位論文を提出した場合には手数料を免除します。

※ 申請様式は、電子メールにより大学院教務学生グループ宛依頼してください。

【電子メールで、データファイルを提出するもの】

・学位論文の要旨（電子媒体(Word)ファイル)所定様式－ファイル名は「氏名・(論文の要旨)」としてください。

・学位論文（電子媒体(PDF)ファイル）－ファイル名は「氏名・(学位論文)fulltext」としてください。

※ 上記のファイルは、電子メールで大学院教務学生グループへ提出してください。

メールの件名は、「論文博士申請・氏名・論文タイトル」としてください。

※ 学位論文が刊行物となっており PDF ファイルの提出ができない場合は、刊行物 2 部を大学院教務学生グループへ提出してください。

7 書類等の提出先

各申請書類の提出先、様式の請求先は以下のとおりです。

【岡山大学大学院 社会文化科学研究科 大学院教務学生グループ】

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目 1 番 1 号

TEL : 086-251-7357・7362

E-Mail : ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

8 学位(予備)論文作成要領

和文または欧文で作成することを原則とします。特別の事情によりこれにより難しい場合は、論文作成前に、紹介教員を経て研究科長の承認を得てください。

規格用紙は、A4 版とします。

論文は、フラットファイル等に綴じるなど 1 部ずつまとめて提出してください。なお、論文の綴じ方は紹介教員の指示に従ってください。

表紙には、別図－1 または別図－2 のように表題等を記載してください。

和文の場合、縦書きも可とします。

平成 25 年 4 月 1 日付け学位規則改正により、博士学位論文全文の公表について、これまでの印刷公表に代えてインターネット公表により行うことになりました。詳細については、岡山大学学術成果リポジトリをご参照ください。

岡山大学学術成果リポジトリ URL : <https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/html/thesis/>

【別図一 1】

(和文の場合) 記入例

背表紙

表 紙

学位論文
□□□□タイトル
□□□
○○年3月9日
氏名

学位論文

□□□□タイトル□□□□

○○年3(9)月

氏名

岡山大学大学院社会文化科学研究科

【別図－２】

(欧文の場合) 記入例

背表紙

表 紙

Thesis

□□□Title

le□□□

Year Month

Name

(タイトル)

A Dissertation

Presented to

Graduate School of

Humanities and Social Sciences

(Doctor's Course)

OKAYAMA UNIVERSITY

In Partial Fulfillment of the Requirements for the Degree

Doctor of Philosophy in Cultural Sciences (文化科学)

Doctor of Philosophy in Letters (文学)

Doctor of Philosophy in Law (法学)

Doctor of Philosophy in Economics (経済学)

Doctor of Philosophy in Business Administration (経営学)

Doctor of Philosophy (学術)

by

Taro Okayama

March/September ○○○○